

令和6年度 放課後子供教室 目標と実績

背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
核家族化や共働きが進み、放課後に家族以外と過ごすことや郷土芸能に親しむなど、多様な体験活動を行う機会が減少している。	企画行事として、布ぞうりづくり教室、郷土芸能教室、ドッチビー教室を行っている。	これまで企画してきた行事も継続しつつ、新たに地域の方とふれあう機会として、新たに企画行事を企画・実施する。	友人や支援員、ボランティア等と一緒に多様な活動を行うことで、多くの人とのふれあいや、郷土芸能を学ぶ。	企画行事の回数	3	回	4	2	企画調整のなかで、当初計画どおりに実施ができず、目標値に至ることができなかった。目標値には至らなかったが、参加者は体験活動を経て、地域の方や友人とふれあいながら、のびのびと活動することができた。企画実施にあたり、実施する時期の見直しを図ることで、より多くの体験活動を計画していく。
学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	放課後における宿題の見守り等学習支援の場を設けている。	教室開室時の宿題の見守り等、学習支援の場を設け引き続き支援を行う。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	週に4時間以上学校以外で勉強する児童生徒の割合 (町教育委員会のアンケート調査)	27	%	50	47.1	宿題の見守り等支援を行うことにより、解いている途中でわからない点等をすぐに指導員に質問できる環境づくりを行っている。それによって勉強への苦手意識が軽減し、学校以外でも勉強する意欲の向上につながったものと考えられる。今回は目標値に至らなかったが、学習でのつまづきを引き起こさず、解決に導くことで得られる学習への苦手意識の軽減を図り、今後も継続していく。